

一般社団法人 日本工業炉協会
会員企業各位

リジェネレイティブバーナの環境省 LD-Tech 水準化の認証について

一般社団法人 日本工業炉協会
技術企画委員会 事務局

平素より当協会の事業にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

掲題の件について、当協会技術企画委員会にて取りまとめましたので下記のとおり協会会員企業の皆様にお知らせいたします。本件は、環境省が推進する LD-Tech 制度（脱炭素化に向けた設備・機器等の効率向上などを後押しする制度）において、リジェネレイティブバーナが満たすべき水準を定めることについて、会員企業の皆様に周知を図るためのものです。

記

1. 概要

環境 LD-Tech 制度（環境省所掌）において、リジェネレイティブバーナーの水準化の認証提案を会員企業である中外炉工業が行っています。この文書は、本件について会員企業に対して周知するためのものです。

2. 環境 LD-Tech とは

環境 LD-Tech 制度とは、2050 年カーボンニュートラルに向けた先導的脱炭素化技術として、「環境省 LD-Tech」（※）をあらゆる部門において分野別に一覧化及び発信し、脱炭素化に向けた技術導入の際の参考となることを通じて、当該技術の普及の強力な推進を目指す事を目的とした制度です。

※LD-Tech（エルディーテック）は、Leading Decarbonization Technology の略称。

環境省 LD-Tech の認証を受けた技術（製品）は、以下のメリットがあります。

- 環境省ウェブサイトにて公開（メーカー名など）
- 脱炭素化の取組を進める地方公共団体等に認証の機器として、積極的に情報提供を実施
- 補助金採択の要件の一つとなる可能性がある

3. 現在の状況

数多くの製品が環境 LD-Tech から認証を受け、型番登録されていますが、政府計画等の公表資料からの調査が困難である脱炭素技術の情報に関しては、リスト化（例：製品分類）、水準化（例：評価基準）が進んでいない状況です。特に工業炉業界においては、CO2 排出の多い業界にも関わらず、リスト化、水準化の双方での認定設備はありません。

4. リジネレイティブバーナの提案

2022年9月8日に環境省から発表された (https://www.env.go.jp/press/press_00482.html) 設備・機器の提案募集にて、中外炉工業より「リジネレイティブバーナ」の水準化に関する提案がありました。

提案内容一覧

項目	内容	算出根拠
評価（水準）	有効熱量 AH (Available Heat)	https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2021FY/000337.pdf P30 参照
クラス	火炎長 火炎径	中外炉カタログによる
能力	100kW 1MW 10MW 50MW	https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2021FY/000337.pdf P31 参照

5. 工業炉協会技術企画委員会のコメント（2022年11月2日実施委員会より）

リジネレイティブバーナも含め、LD テックのリスト化及び水準づくりは、将来の補助金事業への利便性を考えると、推進すべき内容である。

今回、リジネレイティブバーナについて中外炉工業が個社レベルで提案をおこなっているが、アベイラブルヒート自体は、一般的かつ公平な指標であると考え。ただし、区分や試験条件等については今後工業会レベルで標準化を行っていく必要がある。

以上

本件についてご意見ご質問等ございましたら、下記事務局担当迄ご連絡いただけますようお願い申し上げます。今後、本件について技術企画委員会で進展などありましたら、改めてご連絡申し上げます。

工業炉協会事務局担当

高橋 良治

03-3861-0561

ryouji_takahashi@jifma.or.jp